

●親子で遊ぼう学ぼう魚とり

4日 45人の参加 14種、160匹捕獲。河川レンジャーの福井さんと中西佳代さん、そして大釜さんはこの一週間前の増水があって、開橋や山城大橋東詰め、草内渡しの浜等、魚とり会場の水量や環境の変化の下見をして、猛暑の中で点検。その結果、草内渡しの浜に少し水が溜まっているので「命の危険がある暑さ」「屋外での活動は控えるべき」でしたが、ここは木陰もあり風も通るので、時間短縮なら実施可能と判断。この夏、最も多い45名の参加者が楽しんでいただきました。およそ50分で14種、160匹が捕獲できました。比較的低学年の皆さんでしたが、全員が魚を捕まえられました。11時30分に魚合わせを終わって、帰宅の途に就きました。参加者からの感想は、いい取り組みで、楽しかった、と喜びの声でした。また、来年の世話役を強くお願いしました。

●中聖牛設置 増設3基

着工日8月25日(土) 昨年設置した中聖牛が2度の増水で大きく傾き、その果たした効果が発揮されています。もちろん大きなゴミも引っかかっています。その足元には大きな水たまりが作られ、取り残された生き物や、飛んできた昆虫がたくさん見つかりました。今年は、竹門先生に研究費が付きましたので、3基の中聖牛の設置が決まりました。昨年と同様の作業となります。着工日を8月25日として、竣工予定を10月6・7・8日のいずれかにと計画の骨子が決まりました。里山の皆さん、竹蛇籠製作に興味を持つ方々、その他、こうした伝統工法に関心を持ちの皆様のご協力を昨年以上をお願いいたします。集合場所は玉水橋の東詰めで、木津川右岸の広場を予定しています。次号の週刊ニュースで計画をお知らせします。

●甲賀森林組合

は5年前には赤松の杭の販売がされていたので、中聖牛の骨格部分の木材の準備のために滋賀県甲賀森林組合を訪ね、赤松材の準備を打診しました。ところが、現在は全くないということで、長野県のカラ松になるとのこと、そして長い物は、切り出す職人が少ないのでかなり難しいということでした。とりあえず杉とカラマツの見積もりをお願いしました。そのお話の中で、この材料の使い道はと聞かれたので、中聖牛を作ることを話すと、それなら野洲川の307号線の確か設置されていると教えていただいた。

●滋賀県水口町の307号線野洲川橋梁の右岸の「水口子どもの森公園」にモデルが設置されていた

この工法は途絶えていたので、木津川で復活させると意気込んでいたところ、南山城村の大河原で山城大水害後の木津川で聖牛の設置写真が発見されました。そして今回は水口町で、説明看板がとりつけられているモデルが発見できました。何とかこれを復元できないものかと思いました。交通量の多い3-7号橋梁からは必ず目にできるいい場所でした。

●木津川マラソン実行委員長篠原氏、里山の会に来訪

500円問題や時給問題、駐車場問題などについて見解を述べられた。7日の午後3時から2時間話し合いました。マラソン実行委員会では事務局で確認された文章の範囲を超える新しい提案はなく、これまでの主張や考え方を述べ合った程度で進展は見られませんでした。里山の会からは播川理事長、深田理事、山村常務理事が話をしました。

●木津川希少種生育調査業務

7月8月の除草作業開始 一週間前に草刈りを行った刈草の運び出しを行う。播川、大村、森島、津川さんが予定していた6日(火)午前6時30分から集積、4袋分を里山農園に運びました。日差しが強くなる前の9時に終了。

●つばめのねぐら入り観察会

11日(土) 17時近鉄向島駅改札口集合ください。

●16日(木)、とうろう流しを計画しています

一昨昨年までは花火大会が行われていましたが、それ以降は中止されていますので、落ち着いて夕闇が迫る中で幽玄の世界を楽しめるのではないかと思います。時々、激しい夕立で大急ぎで店じまいに追われることもあります。夏休みの夕べのひと時を小さな小川で楽しんでみませんか。2、3分で簡単に組み立てられます。ほのかな明かりで浮かび上がる手づくりの絵がいいものですね。お越してください。参加費無料です。

●18日 京都子どもの水辺

10時から こぞって参加をお願いします。

内容はカヌー体験 昆虫観察 水辺の活動発表を計画しています。もちろん参加料無料

小学生交通費支給 熱中症対策で予定変更有 弁当持参水分補給を十分に。

参加資格 5人以下のグループでご参加ください。小学生4年生以上 申込必要 ハガキで 後援は京都府や京都府教育委員会、その他、山城地域の各自治体が講演をひき受けていただきました。去年は滋賀県からも参加があり約70名の皆さんが発表や体験をしました。今回は京都大学院生の小林さん、滋賀県立大学院生の北野さん、そして、めだかの研究をしている近畿大学4回生の田井さんがお手伝いをしてくれます。前の近畿大学の教授の桜谷保之先生が昆虫観察の指導をいただきます。川好きの子どもたちにも活動紹介をお願いしています。弁当持参ですが水筒も忘れず持ってきてください。カヌー体験では濡れるかもしれませんので、着替えも必要かもしれませんね。